

令和4年度

第1回家族ふれあい週間（6/23～6/29）を終えて

教務部・学習指導部

今年度の第1回目は、「家庭学習を通して家族とのふれあいを深めること」をテーマに取り組みました。子供たちの振り返りや保護者の方のたくさんの感想にも、心温まる思いでいっぱいです。改めまして御協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

紙面をお借りしまして、チャレンジカードに書かれた保護者の皆様の励ましの言葉や、子供たちのめあての一部を紹介いたします。

<みなさんのめあてより>

めあて	家庭学習
<ul style="list-style-type: none">・ゲームは30分以内。・テレビは30分以内。(月～金)・ユーチューブは20分にする。・ゲームをやらない。・テレビ、ゲームをしなくてニュースだけみる	<ul style="list-style-type: none">・1日40分以上は、家庭学習をする。・自主学習を1日2ページはやる。・算数の引き算と足し算をやる。・間違った問題を復習する。・ピアノの練習と読書。土曜日と日曜日は音読。・読んだ図書の感想を書く。

<保護者より>

2

- ・今までよりは、学習に取り組む姿勢が良くなったと感じました。
- ・ユーチューブの時間をタイマーを使って管理できて良かったと思います。
- ・全体的によくできていました。たくさん時間ができたので、お風呂洗いや洗濯物をたたんだり、お料理も手伝ってくれました。
- ・宿題が終わり時間があるとどうしてもテレビを観る時間が多くなってしまいましたが、家族ふれあい週間の間は、時計を見て自分でテレビを消すことができました。その分、読書をしたり復習をする時間が増えたので良かったと思います。

<結果から>

- ・「めあて」、「家庭学習」とともに日頃の様子を考えて、無理のない具体的な内容にすると、◎が多く付く傾向でした。
- ・時間ややる内容を決めて取り組んでいる姿が見られたら、どんな小さなことでもほめるようにしましょう。その際「今日は〇ページから〇ページまで」など、スモールステップで行うようにすると、ほめる機会が増えるおすすです。また、友達や兄弟・姉妹とくらべないで、今、目の前にいるお子さんを認め、励ましてあげてください。
- ・「家族ふれあい週間」のねらいは、家族とふれあう時間を増やすことです。週間中に、△が続くときには、どうすればできるようになるかを家族で話し合う時間にさせていただき、子供がのびるチャンスを増やしていただければと思います。

<最後にちょっと一言>

子供たちの反省や感想を読みますと、今回の取り組みを基に、更によくしていきたいという意欲に溢れていました。これも、保護者の方々の温かい励ましの言葉があったからだと思います。保護者の方々の温かい励ましの言葉は、子供たちの「やる気」の原動力です。この「家族ふれあい週間」での取り組みが、更に習慣として定着していくように、これからも励ましながらすすめていけるとよいと思います。